

船舶事故調査報告書

令和元年8月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（かき筏）
発生日時	平成31年4月30日 08時08分ごろ
発生場所	広島県江田島市絵ノ島東方沖 安芸絵ノ島灯台から真方位087°400m付近 （概位 北緯34°17.5′ 東経132°22.0′）
事故の概要	漁船国丸は、係留作業中、かき筏に衝突した。
事故調査の経過	令和元年5月9日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 国丸、2.4トン
船舶番号、船舶所有者等	HS3-42283（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 右舷中央部外板に亀裂、主機に濡損 かき筏 なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、一本釣り漁を行う目的で、かき筏に右舷着けで係留作業中、付近を航行していた船舶の航走波により船体が動揺し、かき筏の木製突起部分に衝突した。 本船は、機関室に浸水して水船となった。 船長は、救命胴衣を着用していた。
分析	本船は、かき筏に右舷着けで係留作業中、付近を航行していた船舶の航走波により船体が動揺した際、外板に防舷材がなかったことから、同筏と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、かき筏に右舷着けで係留作業中、付近を航行していた船舶の航走波により船体が動揺した際、外板に防舷材がなかったため、同筏と衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・かき筏に係留する際には、船体動揺によって外板が筏に接触しないよう適切に防舷材を設置すること。